

平成30年度から国民健康保険税率が変わります

広報古河3月号でもお知らせしたとおり、平成30年度から県が国保財政運営の責任主体となります。将来的には県内統一の保険税率を目指すこととなりますが、当面は各市町村の実情に合わせて税率を決定し、財源を確保することとなります。

このようなことから、市では平成30年度から原則2年ごとに、加入者への急激な負担増にならないよう配慮しながら、税率を見直すことになりました。

【問】国保年金課(古河庁舎) TEL22-5111

平成30年度からの新しい税率

分類	内訳	改正前(A)	改正後(B)	差額(B-A)
医療分 (0～74歳)	所得割(所得に対して)	6.90%	7.36%	0.46%
	均等割(加入者1人当たり)	1万6,300円	1万7,300円	+1,000円
	平等割(1世帯当たり)	1万8,900円	2万円	+1,100円
	賦課限度額(※)	54万円	58万円	+4万円
後期高齢者 支援分 (0～74歳)	所得割(所得に対して)	1.85%	1.97%	0.12%
	均等割(加入者1人当たり)	4,500円	4,800円	+300円
	平等割(1世帯当たり)	5,100円	5,400円	+300円
	賦課限度額	19万円	19万円	—
介護分 (40～64歳)	所得割(所得に対して)	1.35%	1.37%	0.02%
	均等割(加入者1人当たり)	1万700円	1万900円	+200円
	平等割(1世帯当たり)	—	—	—
	賦課限度額	16万円	16万円	—

※賦課限度額(医療分)の改正は、国の税制改正によるものです。

所得の少ない世帯への軽減措置の拡充

軽減種類	平成30年度からの軽減判定方法(均等割・平等割が対象)	拡充額
7割	所得33万円以下	—
5割	所得33万円+(27万5,000円×被保険者数と特定同一世帯所属者の合算数)以下	5,000円
2割	所得33万円+(50万円×被保険者数と特定同一世帯所属者の合算数)以下	1万円

※下線部分が拡充箇所となります。

モデルケース(国民健康保険税計算例)

世帯：単身(25歳)

収入：無し

軽減割合：7割軽減(均等割・平等割)

分類	改正前	改正後	差額
年税額	1万3,300円	1万4,100円	+800円

世帯：夫(48歳)、妻(46歳)、子(17歳)、子(15歳)

収入：夫(営業所得210万円)

軽減割合：2割軽減(均等割・平等割)

分類	改正前	改正後	差額
年税額	28万1,600円	29万7,700円	+1万6,100円

世帯：夫(70歳)、妻(68歳)

収入：夫(年金収入200万円)、妻(年金収入80万円)

軽減割合：5割軽減(均等割・平等割)

分類	改正前	改正後	差額
年税額	7万3,800円	7万8,500円	+4,700円

世帯：夫(58歳)、妻(52歳)、子(20歳)、子(18歳)

収入：夫(給与収入400万円)

軽減割合：軽減措置なし(均等割・平等割)

分類	改正前	改正後	差額
年税額	36万3,800円	38万4,800円	+2万1,000円

古河市民大学2018が始まります

古河市民大学は、さまざまな講座を通して古河の魅力に触れる「生涯学習の場」。自分磨きや仲間作り、古河の魅力を発見できる講座が目白押しです。

一部の講座では募集が始まります。奮ってご応募ください。

【問】生涯学習課(古河庁舎) TEL22-5111

花火学講座～初級編～



花火の仕組みを学ぶ座学と、花火製造工場を見学。

日時 5月17日(木)19時～21時

5月19日(土)9時30分～12時

場所 スペースU古河

定員 16人(多数抽選) 費用 700円

申込期限 5月10日(木)

大人女子のための自分磨き講座Ⅰ



アンチエイジング&造顔ヨガ。

日時 6月16日(土)10時～12時

場所 はなももプラザ

定員 20人(多数抽選) 費用 300円

申込期限 5月30日(水)

防災講座Ⅲ



「災害発生後72時間を生き延びるために」をテーマにした講義と、避難所運営ゲームを体験。

日時 7月7日(土)9時30分～13時30分

場所 古河福祉の森会館

定員 50人(多数抽選)

費用 無料(試食を希望する人は400円)

申込期限 6月22日(金)

子育てカフェⅠ～整理収納編～



日頃の片付けをより効果的にすることを学び、自分の時間も大切にしてみませんか。

日時 7月18日(水)9時30分～13時

場所 学校給食センター

定員 25人(多数抽選・託児あり)

費用 440円(給食試食費込み)

申込期限 6月29日(金)

今年は「上級編」の講座も用意！

この他にも、遊水地講座～秋の植物編～、歴史講座～近世編～、日本酒講座など14講座を開催予定です。特に、花火学講座や民俗学講座では、過去の受講者(花火学講座は今回募集を含む)だけを対象にした上級編も開催します。